

### 一年生

学げいかい  
一年 たかはし しず音  
わたしは、学げいかいで3びきの子ぶたをやりました。  
木のおうちのまえて、たったりすわたりするのがたいへんでした。  
「さあ、おうちをつくらう。」  
みんなのおかあさんとおとうさんがいたから、はずかしかったけど、大きなこえでがんばりました。  
おかあさんとおとうさんがいて、うれしかったです。

### 二年生

きんちようした学芸会  
二年 高橋 俐汰  
ぼくは、おにぎりのやくをしました。ころがるのがむずかしかったです。それから、ねずみとナレーターもやりました。どちらも大きい声で言えました。  
いろんなうごきや声の大きさ、きぐこでできるようにしました。  
じどうこうかい日では、そのれんしゅうのせいかをはつきして、きぐこもはずかだつたし、うごきも声の大きさもぜんぶかんぺきでした。  
ほかの学年で一ばんおもしろかったのは、四年生のげきです。おもしろかったところは、みんなが光るけんでたおされたところです。

### 三年生

心にとった学芸会  
三年 佐藤 陽愛乃  
十月十八日に学芸会がありました。さいしよはきんちようしたけど、だんだんきんちようがなくなってきました。  
一番目は手遊び歌でした。十五夜さんのもちつきと陽気なかじやをやった楽しかったです。自分のせりふがきて、「ヨロシクオネガイシマス」が、ちよっときんちようとして、笑っちゃいました。  
次は、ダンスチームでした。ジェンカとマイムマイムを歌って楽しかったです。  
さいごに、みんなでえんそうと歌を歌ったのが楽しかったです。演奏の曲名は、オクラホマミキサーです。歌を歌ったのは、イツツアスモールワールドです。めちゃくちゃ楽しい学芸会でした。  
来年の学芸会は、はずかしくないようにどうしようががんばりたいです。



# 学芸会の作文



### 四年生

学芸会の思い出  
四年 間木野 斗真  
ぼくは、学芸会でみなみ姫を発表しました。みなみ姫は、四年生で考えた学芸会のげきで、かぐや姫と南富良野を合体させたげきです。心に残ったことを2つ紹介します。  
一つ目は、学芸会を成功させたことです。王子になりきってセリフを聞こえやすく言えるように頑張りました。みんなで、「キセキ」の合唱をしたり、リーダーで「ものけ姫」を演奏したりしました。とても緊張しましたが、最後まで頑張りました。  
二つ目は、友達や人の優しさに触れたことです。ぼくは学芸会の前に体調不良で、休んでしまっていたのですが、「声が出なかつたら、ぼくが出すよ」とか「間違ってもいいからね」と言ってもらえてとてもうれしかったです。広瀬先生と辻野先生も見に来てくれてとてもうれしかったです。

### 五年生

五年生での最高の学芸会  
五年 大浦 瑠璃  
私は、学芸会でルパン三世とグループ発表、合唱を行いました。とても緊張したけれど思い切って頑張れたので良かったです。  
私が学芸会で楽しかったことは、二つあります。一つ目は、みんなで力を合わせて頑張ったルパン三世です。なぜなら、練習を始めたころは、みんな踊るリズムが合わなくて大変だったからです。みんなが学校だけではなく、家などでも自主練習をしてくれたおかげで、少しずつ動きが合うようになってきました。日が経つにつれて五人はどんどんリズムが合ってきたり、揃えて踊れるようになってきました。そして、むかえた学芸会本番では、とても緊張していたけれども、最後までしっかりと五人で踊り切ることができて良かったです。  
この学芸会を通して、私は少しずつ恥ずかしがらずにみんなの前で発表ができるようになったと思います。

### 六年生

最後の学芸会  
六年 伊賀 蓮音  
ぼくの学芸会のめあては「大きな声でゆっくりしゃべること」でした。目標に対して頑張ったことは、最高の学芸会にするために役作りをがんばりました。練習の初めの頃はあまりなじまなかつたけど、やっていくうちに、なじんできました。  
そして、総練習の日がやってきました。みんなの前で発表するので緊張したけど、ゆっくり落ち着いてしゃべろうと思えました。怪しい男になりきれたと思います。係は児童係をやりました。上手く誘導できたと思います。  
そして本番が来て、ぼくはすごく緊張したけれど、「練習通りやればいんだ」と感じました。まず係は、五年生を誘導して結構うまくいったと思いました。そして劇はすごく緊張したけど、落ち着いてやることができました。審判のセリフでちよっとかんでしまったけれど、他は身振り手振りを使ったりして、ぼくはいい学芸会だったと思いました。  
残り少ない小学校生活に学芸会で学んだことを生かしていきたいです。

# 学年レク

## 1年

「よいしょー！よいしょー！」  
みんなで掛け声を合わせ、総勢五六人で力を合わせてお餅をつくことで、そこには特別な一体感が生まれた！  
十二月六日土曜日、晴れ。前日までの大雪が嘘のように晴れ最高のお餅つき日和。この日、小学生になって初めての学年レクを行いました。

「餅つきやらない？」役員の方が餅つきを提案してくれて、餅つきをライフワークとして活動している方がいると聞き、下金山在住の川邊さんにご協力をいただき餅つきをすることにしました。  
まずは川邊さんからお餅つきについて説明をしていただき、次に神事。杵と臼にお供え物をしましたが、これから何が始まるのかと子どもたちみんな神妙な顔つきでした。「これがお餅になるんだよ」と、蒸しあがったもち米を味見させてもらい、いよいよお餅つきが始まります。  
まずは力持ちのお父さん方から。みんなで臼の周りに集まり、「よいしょー！よいしょー！」大体お餅の形になってきたところで、子どもたちとお母さん方の番。みんなで、「よいしょー！よいしょー！よいしょー！」と五回ずつ餅つき。自然と拍手まで湧きあがります。

ついて私と息子の番ですが、ここで私の餅つき経歴を紹介させていただきます。現在中三の娘が小学校一年生の時に学校で餅つきをさせてもらったのを見たけれど、自分が餅をついたのは私が幼稚園生ぶりでした。えーと、何十年前ですか？かなりブラブラはあるけれど、きつと体は覚えてるはず……！  
みんなが餅をついているのを見る分には簡単そうに見えるのですが、いざ自分がやってみるとなかなか理想通りの餅つきができない。理想はこうです。まず杵を軽々と大きく振り上げて、臼の真ん中に力強くドスン。しかしどうでしょう、実際にはま杵が重くて上がらない。大きく振り上げるなんてできません。そして、臼の真ん中に杵を真っ直ぐ打ち付けるのもうまくいきません。筋力がないので踏ん張りがきかない。フラフラです。見るのとやるのとじゃ大違い。自分の体力の衰えをひしひしと感じさせざるを得ない。たった五回。されど五回。頭の中で描いていた理想の餅付きスタイルにはほど遠かったが、みんなに囲まれながら掛け声をかけてもらい、息子と一本の杵を持ち一緒に共同作業をするってなんだか嬉しい、楽しい。そして、白い餅、赤い餅と二回つき終えて、みんなで餅を丸める作業をして、ついに実食。みんな本当に美味しそうに食べてる姿を見て、「餅つきやってよかったー」と心から思いました。

学年レクの開催にあたりご協力いただいた先生方、川邊さん、役員、一年生のみんなと家族の皆様にご協力いただき感謝いたします。皆様のおかげで無事学年レクを終えることができました。ありがとうございました。

【一学年 副部長 山本 祐季】

## 4年

十一月一日(土)四年生の学年レクを行いました。十歳という節目の学年なので、「二分の一成人式」をしました。

体育館と音楽室と家庭科室を使わせていただき、ドッジボール、ケーキデコレーション、赤ちゃんの時の写真を飾り、親子でサプライズお手紙交換、写真撮影ブースで自由に撮影等盛り沢山で楽しい時間を過ごしました。ケーキデコレーションではそれぞれのグループの個性があふれる作品が並び、楽しく工夫する子供達の笑顔がとても印象的でした。  
友達同士で見せ合ったり、完成を喜び合う姿が微笑ましく、思い出に残るひとときとなりました。この学年レクの開催にあたり、ご協力くださいました先生方、保護者の皆さまに心より感謝申し上げます。

【四学年 部長 高橋 郁恵】

## 2年

七月十二日(土)、二年生の学年レクリエーションを実施しました。

今回のメインは「クレール作り」！保護者の皆様のご協力のもと、クレール生地やカスタードクリームをプロのレシピで手作りし、子どもたちには自分の好きなトッピングを選んでもらい、思い思いのクレールを作りました。自分で巻いて食べるクレールはとても美味しかったようで、おかわりを求める子どもも多く、笑顔で頬張る姿がとても微笑ましく可愛らしかったです。

お腹もいっぱいになったところで、体育館に移動し腹ごなしのゲーム遊び！じゃんけん列車、新聞じゃんけん、ボールリレー、人間知恵の輪などのレクリエーションを行いました。参加した児童だけでなく兄弟姉妹、更には保護者も加わり、元気に身体を動かしながら笑い声の響く時間を過ごすことができました。  
子どもたちにとって、美味しく楽しい思い出となったと思います。

【二学年 部長 中島 翔太】

## 6年

十一月二十二日(土)二十三日、六年生の学年レクを行いました。内容はもちろん、歴代六年生たちが経験してきた「お泊り会」です。

レク内容は、事前に子どもたちからやってみたいことを聞き、盛り込みました。  
まずは、「学校中かくれ鬼」。子どもチームと大人チームに分かれてのチーム戦にし、大人も子どもも校内を走り回りました。ミッションに挑戦したり、仲間を救出したり細かなルールにも順応しながら、六年生たちのチームワークの良さが印象的でした。結果は子どもチームの圧勝！しかしながら、小道具持参で鬼役を全うしていたいたお父さん方、途中から追加で鬼役をしていただいた保護者の方々には感謝と尊敬の気持ちでいっぱいです。  
しつかり動いた後は、「調理がしたい」という六年生の意見から、みんなで夕食の調理へ。焼きそばや豚汁、デザートなど「私これやるね」「次は交代しよ」「手伝うことありますか？」と声をかけあって進めてくれる子どもたちの雰囲気の良い、頼もしさを感じました。  
調理が一段落したところで、フライドポテトやピザなどの調理をお母さんたちに手伝ってもらい、子どもたちはお父さんたちと花火レクへ：当初は九月開催予定だったため、夜の花火レクを計画して早々に購入してしまったのですが、日程を変更することになってしまいました。花火は楽しんでもらえたようですが、大人も子どもも鼻を赤くして「寒かった」と戻ってきました。

夕食はバイキング形式で思い思いに盛り付け、おかわりしたり、デザートのトッピングを工夫したり和やかに楽しみました。  
しつかり食べた後は、役場からお借りした簡易ベッドの組み立て方を教わりながら、自分たちで組み立てて寝床を確保し、一旦休憩かと思いきや六年生は体育館でテンカ。その後お菓子を食べながらカードゲーム、ダンス、お絵描き、誕生日祝いなど「朝まで遊ぶぞ」と、夜の学校を楽しんでいました。その後、先に寝ていた子ども遅くまで起きていた子ども朝までぐっすり：簡易ベッドの快適さに大人たちも感激しつつ、朝食には夕食の残りなどをみんなで食べて解散となりました。

六年生になったら学校にお泊りできる！と楽しみにしていた六年生全員が参加できたことはとても嬉しいことでした。日程変更にも、体調管理にも対応していただいたご家族のみなさんには、感謝しありません。そして、学年レクの開催にあたりご協力いただいた先生方、役員の方々、元気の参加してくれた六年生のみなさんに心から感謝申し上げます。二年連続で学年部長を務めることになり、頼りない部長で迷惑をおかけしましたが、子どもたちの成長した姿をたくさん目にする事ができる良い機会になったと思います。最後に、ご協力いただきました皆様に深く感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。

【六学年 部長 伊賀 未奈】

## 3年

十一月十五日(土)、三年生学年レクを行いました。今年のレクは『校内謎解きゲーム』と『パン食い競争』。

校内謎解きゲームでは、三チーム十兄弟姉妹チームの四チームに分かれてゲームを行いました。校内に隠されたクイズを真剣に探す子供たち。見つかるたびに「あったー！」の声と笑顔が飛び交い、ゲームを楽しんでくれていました。時には他チームの様子をうかがいながら、クイズも子供たちの力で答えを導きだしてみんなで協力して取り組んでくれました。三年生の良さが随所に感じられ、みんなの成長に感激でした。全員無事にゴールし、景品はお菓子で作ったメダルをプレゼント。首からさげてニコニコ喜んでくれた姿がとても印象的でした。

謎解きゲームの後は、親子、先生、みんなでパン食い競争を行いました。途中でパンが床に落ちてしまっても手を使わず一生懸命パンをくわえようとでも律儀な三年生でした。

三年生のみんなが楽しんで、思い出に残ってもらえるようにと役員で何度も打ち合わせを行い、当日を迎えました。バタバタとご迷惑をおかけしたと思いますが、皆さんの優しさご協力が心で救われたと思います。なにより子供たちの笑顔をたくさん見ることができて、役員一同とても嬉しかったです。そして日頃から子供たちのために尽力して下さっている小野寺先生や文玲先生もたくさんアイデアを出していただき、当日も子供たちと一緒に校内中を歩き回ってサポートしてくださりました。三年生のみんなとご家族の皆様、先生方、役員の高橋さん、どうもありがとうございました。来年もみんなで楽しみましょう。

【三学年 部長 佐藤 公香】

## 5年

十二月十三日(土)に五年生の学年レクリエーションを開催致しました。今年は餃子作りとフロアカーリングを行いました。

今年での調理をするレクは初度不安と期待が入り混じりながら先生方、役員と話し合いを重ねていきました。実際レクがスタートすると、早目にお手伝いに参加して下さる父母の方がいらしたり、ホットプレートや自家製だれを持参して下さる方、食材の下ごしらえ、食器の準備等、沢山率先してお手伝いをして下さる方ばかりで大変助かりました。子供達も学校で親御さんとの共同調理は初めてで楽しそうにお話をしながら餃子を包んでいました。お子さんによって具が多目だったり包み方に特徴があったりと個性豊かな餃子が沢山出来上がりました。ホットプレートやフライパンで焦げ目がついた熱々の餃子を美味しく味わう姿はとっても愛らしく格別に幸せな親子の時間を過ごせたと思います。

食後は体育館でフロアカーリングを行いました。テレビ画面でわかりやすい説明を見聞きしてよいよスタートです。先生が考案して下さったシンプルでわかりやすいゲーム設定でみんな大盛り上がりでした。小さいお子さん、小学生から大人まで入り混じってのカーリングは皆さん楽しそうでした。カーリングの上位順から好きなキャラクターの筆記用具をプレゼントさせて頂きました。それぞれの好みのキャラクターを発見して嬉しそうに持ち帰る姿に選んだ甲斐がありました。

今回の学年レクリエーションの開催にあたり御尽力を頂いた先生方、役員、保護者の皆様にご感謝致します。色々と至らない点があったと思いますが年末で忙しい中、ご参加頂いたご家族の皆様、本当にありがとうございました。楽しい五年生親子レクの思い出になって頂ければ幸いです。

【五学年 部長 瀧 貴子】

## 祝卒業

